

2019年度 天体形成研究会 プログラム

2019年10月18日(金)~19日(土)@筑波大学計算科学研究センター

10/18 (金)

時間	講演者	タイトル
9:15~9:25	開会挨拶 (筑波大学教授 梅村雅之)	
<セッション1>座長: 井上茂樹		
9:25~10:05	曾我健太 (筑波大学)	高赤方偏移銀河の電離構造に対するAGNの影響
10:05~10:25	セツ・ウンハン (筑波大学)	AGNフィードバックの効率
10:25~10:45	休憩	
<セッション2>座長: 加藤一輝		
10:45~11:25	佐々木竜志 (筑波大学)	Milky Wayのthick disk形成シミュレーションとMissing Satellites Problem
11:25~11:45	数野優大 (筑波大学)	天の川銀河におけるサブハローの衝突シミュレーション
11:45~12:15	木下真一 (東京大学)	M17領域の赤外暗黒星雲における雲衝突の役割
12:15~13:25	昼休み	
<セッション3>座長: 田中賢		
13:25~13:55	小山紗桜 (新潟大学)	ALMAを用いた $z=3.2$ サブミリ波銀河の高解像度イメージング
13:55~14:25	石倉来実 (新潟大学)	宇宙マイクロ波背景放射とザックス・ヴォルフ効果
14:25~14:45	休憩	
<セッション4>座長: 阿左美進也		
14:45~15:25	竹澤多聞 (筑波大学)	銀河中心ガス円盤におけるブラックホールの力学的進化~円盤中の合体条件~
15:25~15:45	橋拓海 (筑波大学)	原始惑星系円盤の基礎的なシミュレーションと卒業研究に向けた展望
15:45~16:05	休憩	
<セッション5>座長: 五十嵐朱夏		
16:05~16:35	山田優太郎 (新潟大学)	GaiaDR2を用いたUpper Scorpius OBアソシエーションの解析
16:35~17:05	西亮一 (新潟大学)	Small JASMINE observation of highly obscured star forming regions
17:05~17:35	新田伸也 (筑波技術大学)	MHDリコネクションの未解決課題への取り組み
17:35~	写真撮影等 (18:10には懇親会会場への送迎バスが参ります)	
18:30~	懇親会	

10/19 (土)

時間	講演者	タイトル
<セッション6>座長: 朝比奈雄太		
9:15~9:55	田崎翼 (筑波大学)	2次元輻射輸送方程式を用いた光バイオイメージング
9:55~10:25	中本泰史 (東京工業大学)	原始惑星系円盤内の雷によるコンドリュール形成: 輻射流体力学計算
10:25~10:55	花輪知幸 (千葉大学)	円筒座標系での見かけの特異点を取り除いた数値シミュレーション法
10:55~11:15	休憩	
<セッション7>座長: 高水裕一		
11:15~11:35	益川洋武 (筑波大学)	未定
11:35~11:55	鈴見祐悟 (筑波大学)	未定
11:55~13:05	昼休み	
<セッション8>座長: 安倍牧人		
13:05~13:35	五十嵐太一 (千葉大学)	Changing Look AGNの輻射磁気流体シミュレーション
13:35~14:05	福島肇 (筑波大学)	星形成領域におけるダスト粒子の光散乱による円偏光生成について
14:05~14:25	休憩	
<セッション9>座長: 阿左美進也		
14:25~14:55	三木洋平 (東京大学)	アンドロメダ銀河North-Westernストリームとダークマターサブハローの相互作用
14:55~15:25	井上茂樹 (筑波大学)	理論モデルを用いた分子輝線の擬似観測
15:25~15:45	休憩	
<セッション10>座長: 福島肇		
15:45~16:25	中村帆南 (筑波大学)	星形成領域における有機物生成とキラリティ
16:25~17:05	細谷亮太郎 (筑波大学)	dusty gasの輻射重力源へのHoyle-Lyttleton降着